

ケミゾール2318 使用説明書

ケミゾール2318(略称:CS2318)は、光学素子再生用の蒸着膜はく離や治具洗浄に使用します。

特徴

- ・蒸着膜のはく離処理に大変優れています。
- ・剥離可能な蒸着材料は、 MgF_2 、 Al_2O_3 、 HfO_2 、 TiO_2 、 Ti_3O_5 等です。
- ・泡立ちが殆どなく、作業性に非常に優れています。

組成及び性状

ケミゾール2318は、水酸化カリウムを主体としたアルカリ性洗浄剤、兼はく離剤です。

外 観：無色～淡黄色透明液体

比 重：14 (at 25°C)

p H：1.37～1.39(原液)

引火点：なし

使用方法

【光学硝材(一般材の素子再生)の蒸着膜はく離】

工 程	CS2318(1段)	⇒水洗(3段以上)	⇒乾燥
濃 度	原液	—	
温 度	40～80°C	15～25°C	
時 間	下記参照	30秒～3分	
US	無	28～40KHz	

【試験実績】光学フィルターの浸漬処理

BK7: AR2～4層(MgF_2/Al_2O_3 /他) 処理温度80～85°C はく離時間 1～2時間
 白板: AR2～4層+IR 多層(40～50層) 処理温度80～85°C はく離時間 6時間

【金属治具の洗浄】

工 程	CS2318(1段)	⇒水洗(3段以上)	⇒乾燥
濃 度	原液	—	
温 度	40～80°C	15～25°C	
時 間	下記参照	30秒～3分	
US	無(又は、併用可)	28～40KHz	

【試験実績】ステンレス製治具の浸漬処理

ARコート: AR10～20層(MgF_2/Al_2O_3 /他) 処理温度80～85°C 剥離時間 6～8時間
 IRコート: IR 40層以上(SiO_2 +他) 処理温度80～85°C 剥離時間 4時間

CS2318浸漬すると蒸着膜が膨潤します。その後の水洗・超音波浸漬で膜が除去されます。

真空蒸着設備ステンレス部品の膜洗浄は、多層膜の為、薬剤浸漬後の水洗時にブラッシングが必要です。

上記条件で洗浄、若しくは膜はく離が出来ない場合、弊社へ御相談ください。

<共有>

- ・タンクの材質は、ステンレス製(SUS304又は316)お奨めします。
- ・強アルカリ性であり、アルミニウムや真鍮を腐食します。
- ・イオンアシスト用Gridの膜はく離は、弊社製品シー・ビーC-180を推奨します。

〔管理方法〕

CS2318処理液の濃度管理は、アルカリ度を測定します。手順は次のとおりです
処理液5gを正確に量り採り300ml ビーカーに採取し、メチルレッド指示薬を3～4滴添加する。
1.0mol/L塩酸を用いて滴定し、滴定量(ml)をポイントと称する。

CS2318濃度	アルカリ度(25℃) 標準値	比重(25℃) 推奨管理範囲
原液	25.3ポイント	23.5～27.2

濃度算出式 $CS2318濃度 B = 5.37 \times A - 36.16$ (A :比重、B:CS2318濃度)

〔補給〕

通常の液面不足の場合、ケミゾール2318(原液)を液面レベルまで補給します。

アルカリ度が高い場合は、水(純水等)を補給します。

アルカリ度が低い場合は、CS2318原液を補給します。

水補給の目安 : 処理液量に対し4.5%の水を補給すると、濃度が約10%低下します。

〔定期清掃〕

定期的にタンク内の剥離した樹脂やマルチコート等を、フィルターやステンレス製の網等で回収します。

〔更新の目安〕

液調整しても管理値に戻らなければ更新時期です。

必要に応じて弊社より管理仕様書を発行します。

適用を受ける主な法規制 (詳細 SDS 参照)

毒物及び劇物取締法

医薬用外劇物 : 水酸化カリウム35%含有

水質汚濁防止法(排水となった場合)

pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質量、SS(浮遊物質)

尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談ください。

注意事項

ケミゾール2318は、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

20kg 入りアトロン缶、20kg 入り UN ポリ容器

以上